



平成 25 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社D T S  
代 表 者 名 代表取締役社長 西田 公一  
(コード番号 9682 東証第 1 部)  
— 問 合 せ 先 —  
取締役 坂本 孝雄  
(TEL. 03 - 3437 - 7522)

## 中期経営計画（2013 年 4 月～2016 年 3 月）の策定について

株式会社D T Sは、2013 年 4 月から始まる新たな 3 カ年中期経営計画を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期経営計画（2013 年 4 月～2016 年 3 月）の狙い

前中期経営計画（2010 年 4 月～2013 年 3 月）では、リーマンショック後の業績落ち込みからの収益V字回復実現に向けて、持続的、自律的な成長のための経営基盤の刷新を目指して取り組んだ結果、売上、利益ともに着実に増大させることができました。

2013 年 4 月からの中期経営計画では、これまでの成果を活かして既に進行中の取り組みを加速させるとともに、企業価値の最大化を実現させるための構造改革やグループシナジーの拡大、必要な資源の積極投入により、市場ニーズに合致したソリューションを適時に提供し続けることで、長期的目標である 50 期（2022 年 3 月期）連結売上高 1000 億円へむけた第一ステップとして、企業価値の向上に邁進してまいります。

## 2. 新中期経営計画の概要

- 【計画期間】 2013年4月～2016年3月
- 【中期経営ビジョン】 「お客様に最高の価値を提供する The Best Value Partner」
- 【中期経営方針】
- (1) 提案力の強化
  - (2) 事業基盤の強化
  - (3) ビジネスモデルの変革
  - (4) 経営基盤の拡充
  - (5) グループ総合力の結集

提案力の強化を行い、事業基盤をより強固なものとするため、根幹の SI 事業における金融、通信に続く第三の柱の育成や、ストック型ビジネスの拡大、グローバル化に向けたビジネス基盤の構築を進めていきます。また、受託型ビジネスからソリューション提供型ビジネスやアウトソース型ビジネスへの転換を目指し、新規ソリューションの創出、さらにはそれを支える高付加価値人材の育成やグループ総合力を結集したグループシナジーの最大化にも継続的に取り組んでまいります。

これらの方針を実現することにより、お客様の「ベスト・バリュー・パートナー」となることを目指してまいります。

### 【業績目標】

#### ◆連結

	2012 年度実績	2015 年度計画
売上高	610 億円	720 億円
営業利益	40 億円	56 億円
営業利益率	6.6%	7.8%

※本資料で記載されている業績予想ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要因などの様々な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることがありますのでご了承願います。

以上